

2-1-1 教員の学位や業績

【次世代教育学部】

教育経営学科	名前(読み)	安永 和央 (やすなが かずひろ)
	職 名	准教授
	取得学位	博士(心理学)
	専門分野 研究領域	心理・教育測定学, テスト理論, 教育心理学
	担当授業	教育心理学, 教育評価, 教職実践演習, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ, 他
	研究業績	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 安永和央(2019). 第5章 クロス集計表の検定. 繁榊算男・山田剛史(編)「公認心理師の基礎と実践 第5巻 心理学統計法」. 遠見書房, 86-108. 分担執筆 安永和央(2015). 第5章 教育測定に関する実証研究. 山田剛史(編)「Rによる心理学研究法入門」. 北大路書房, 97-124. 分担執筆 <p>【論文, 総説】</p> <ol style="list-style-type: none"> 安永和央(2021). 2群の平均値の比較. 臨床栄養, 138(3), 432-442. 安永和央(2021). 統計的検定のキホンの考え方. 臨床栄養, 138(2), 256-264. 安永和央・齋藤 信・坂本雄士・石井秀宗(2015). 国語読解テストの出題傾向とその性質—公立高校入試問題の記述式問題に着目して— クオリティ・エデュケーション, 7, 81-103. 安永和央・石井秀宗(2012). テストにおける設問の問い方が回答傾向に及ぼす影響—国語読解テストを用いた実証研究—, 教育心理学研究, 60, 296-309. 安永和央・齋藤 信・石井秀宗(2012). 構造的性質を操作した国語テストにおける回答の検討—中学生を対象にしたテストの実証研究— 日本テスト学会誌, 8, 117-132. Yasunaga, K., & Ishii, H. (2011). Comparing response patterns for a reading literacy test in Japan, South Korea, and China: An item analytic approach using a language reading test developed in Japan. Procedia-Social and Behavioral Journal, 29, 443-451. 他
	所属学会 学会活動	日本テスト学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会, 日本行動計量学会
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度 模擬講義 2022 部活応援「進路相談フェア」in 高松(日本ドリコム) 「記憶のし・く・み—覚える・忘れる／忘れない・思い出す—」(心理学の授業) 2021年度 出前授業 愛媛県立丹原高等学校 「錯視(さくし)の世界—見えたものは本物か—」(心理学の授業) 2021年4月 日本行動計量学会 和文誌編集委員(2024年3月まで) 2020年度 やまぐちで学ぶ! 高校教育魅力向上事業 アクティブ・ラーナー研修プログラム 講師 「テストデータに学ぶテスト作成」 2019年4月 日本教育心理学会 『教育心理学研究』編集委員(2024年12月まで) 2019年度 出前授業 福岡県立修猷館高等学校 「アンケート結果の解釈を見直す—新聞記事を題材として—」(調査法の授業) 他 	